

第三者評価（結果）報告書（総括）

総 括	
対象事業所名	なごみグループホームわさびⅡ
対象サービス	共同生活援助
事業所所在地	神奈川県川崎市多摩区
設立年月日	平成 28 年 8 月 1 日
評価実施期間	平成 30 年 7 月 ～ 平成 31 年 1 月
公表年月日	平成 31 年 1 月
評価機関名	株式会社フィールズ
総合評価（ホームの概要と理念や方針、支援にあたって努力・工夫している点など）	
<p><ホームの概要></p> <p>「なごみグループホームわさびⅡ」は川崎市内・東京都内に、幅広く福祉関係事業を展開する「社会福祉法人なごみ福祉会」が運営するグループホームです。平成 28 年 8 月に開設されました。</p> <p>JR 南武線、小田急線「登戸駅」から徒歩 10 分ほどの住宅地にあります。2 階建ての、入居定員 5 名で、20 代～40 代男性 5 名が生活しています。隣接して設置法人系列の「グループホームわさび」（平成 27 年開設）があり、利用者が行き来して、職員も連携を取りあっています。</p> <p><理念・基本方針></p> <p>設置法人（社会福祉法人なごみ福祉会）の基本理念は「共に生き、共に育つ」としています。障害福祉部門の「なごみグループホーム」としての運営方針は、「地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう」「利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場にたった」サービスを提供する としています。</p> <p><支援にあたって努力・工夫している点></p> <p>① 支援は、利用者の話を十分聞く事、また利用者の意向を把握し、了解を得て利用者と一緒に行動をしながら支援することに留意しています。「第 1 に利用者ありき」と考え、「利用者のためになっているか」「職員の都合による行動をしていないか」を振り返ることや、何事においても事実関係を確認した上で公平に対応していくこととしています。</p> <p>② ホームでは、家庭的な雰囲気、和やかで健康的に過ごせるように心がけています。共同生活でもあるので、安心・安全に考慮する点や最低限の約束事はありますが、各自のペースや行動を尊重しています。</p> <p>③ 設置法人の障害福祉部門の会議や、毎月のホーム会議、定期的開催する世話人会議・調理者会議で、運営や支援サービスに関する情報を確認し共有しています。</p>	

評価領域ごとの特記事項	
1. 人権の尊重	<p>①利用者一人一人の意向を尊重し、その人らしい暮らし方、生活の保障をサービスの基本としています。</p> <p>②利用者のプライバシー保護、人権擁護についてホーム会議、世話人会議で確認し、人権侵害行為防止を図っています。また法人主催の研修受講で、スタッフの人権に対する意識を深めています。</p>
2. 意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供	<p>①個別支援計画は、半年ごとに、利用者の意向を確認し、見直しをしています。</p> <p>②ホームでは、何でも言いやすい雰囲気を作り、利用者の話を十分聞き取ることに努め、利用者から要望や意向を聞いています。また日常生活の中から、意向を汲み取っています。毎月実施のホーム会議および、定期的に開催する世話人会議、調理者会議で、利用者の意向、状況などについて、話し合いや検討をしています。</p> <p>③職員は利用者自身でできる事は極力、自分でやるように利用者の日々の生活の環境整備や言葉かけをしています。</p>
3. サービスマネジメントシステムの確立	<p>①利用者の特性に応じて、金銭を預かり、定期的に定額の金銭を渡しています。使い道は、利用者本人にまかせ毎月の出納表は、利用者と確認しています。</p> <p>②苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員会協力員を記載したポスターをホームのリビングに掲示し、周知を図っています。</p>
4. 地域との交流・連携	<p>①地域の自治会に加入しています。また近隣住民とより良い関係づくりを目指しています。</p>
5. 運営上の透明性の確保と継続性	<p>①設置法人の経営する全事業所が統一の基本理念を掲げています。自分らしく、地域の中で活動し、生活することを目指しています。</p> <p>②設置法人の基本理念、運営方針、事業所概要、組織図、決算報告書、現況報告書などは設置法人ホームページに掲載しています。</p>
6. 職員の資質向上の促進	<p>①入職時の実地研修を十分行うことや、継続研修および外部研修に参加し、資質向上を図っています。</p> <p>②ホーム内での各会議で、人権やスタッフの支援の仕方、対応などを確認しあい、振り返ることにより、利用者にとってのより良い支援を目指しています。</p>
7. 日常生活支援	<p>①日頃から健康管理について留意し、利用者自身も健康や衛生に関心を持ち自己管理するよう、支援や声かけをしています。急な体調の変化があった時には医療機関と連絡を取っています。</p> <p>②日中活動先から帰宅後は利用者それぞれ、買い物や、部屋で休んだり、リビングで談笑したりと自由に過ごしています。休日は買い物、外出、自宅に戻るなどしています。</p>

	<p>③常日頃から家族とは連絡を取り合い、訪問時にきめ細かい連携を心がけています。家族の方の気持ちを受け止め、寄り添うように努め、今後の支援を共に考えて行くようにしています。</p>
--	---